



通知先および通知先グループの管理

- [通知先について \(1 ページ\)](#)
- [個人通知先の作成 \(2 ページ\)](#)
- [個人通知先の変更 \(3 ページ\)](#)
- [個人通知先の削除 \(3 ページ\)](#)
- [電話通知先の呼び出し回数設定の変更 \(4 ページ\)](#)
- [通知先のループ検出設定の変更 \(4 ページ\)](#)
- [通知先グループについて \(5 ページ\)](#)
- [通知先グループの作成 \(6 ページ\)](#)
- [通知先グループの変更 \(6 ページ\)](#)
- [通知先グループからの通知先の削除 \(7 ページ\)](#)
- [通知先グループの削除 \(7 ページ\)](#)

通知先について

通知先は、Cisco Unity Connection で着信コールを転送できる、またはパーソナル着信転送ルールの一部としてテキストメッセージを送信できる電話番号や電子メールアドレスです。通知先のタイプには、次の3つがあります。

| | |
|-----|--|
| 電話 | <p>電話通知先は、Connection で着信コールを転送できる電話番号です。</p> <p>Connection ディレクトリ内の、個人に関連付けられている電話番号は、電話通知先として使用可能です。この電話番号には、プライマリ内線番号、ボイスメールアクセス番号、および業務用携帯電話が含まれる場合があります。ディレクトリ内の電話番号は、Connection の管理者が保守します。</p> <p>また、携帯電話番号、自宅の電話番号（Connection ディレクトリに登録されていない場合）、および出張中に連絡がとれる電話番号など、個人の電話通知先を作成することができます。これらの通知先はパーソナル着信転送ルール Web ツールで管理します。</p> |
| SMS | <p>SMS 通知先は、Connection でテキストメッセージを送信できる SMS デバイスの電話番号です。メッセージでは、「<number or extension> から <time><date> にコールがあ</p> |

| | |
|-------------|--|
| | <p>ります。」という標準形式が使用されます。（たとえば、「You have a call from 3233 at 15:16 on 04 October 2010」）。</p> <p>SMS 通知先をルールで使用するには、少なくとも1つの電話通知先を含む通知先グループにこの通知先を追加する必要があります（SMS 通知先は、ルールの作成時に [ルール] ページの [通知先] リストに表示されることはありません）。</p> <p>SMS デバイスは、Connection の管理者が追加する場合がありますが、ユーザは Messaging Assistant Web ツールで修正できる場合があります。SMS デバイスは、パーソナル着信転送ルール Web ツールで通知先として利用できるようにするために、Messaging Assistant で有効にする必要はありません。</p> |
| SMTP | <p>SMTP 通知先は、Connection でテキストメッセージを送信できる電子メールアドレスです。メッセージでは、「<number or extension> から <time><date> にコールがあります。」という標準形式が使用されます。（たとえば、「You have a call from 3233 at 15:16 on 04 October 2010」）。</p> <p>SMTP 通知先をルールで使用するには、少なくとも1つの電話通知先を含む通知先グループにこの通知先を追加する必要があります（SMTP 通知先は、ルールの作成時に [ルール] ページの [通知先] リストに表示されることはありません）。</p> <p>SMTP デバイスは、Connection の管理者が作成する場合がありますが、ユーザは Messaging Assistant Web ツールで修正できる場合があります。SMTP デバイスは、パーソナル着信転送ルール Web ツールで通知先として利用できるようにするために、Messaging Assistant で有効にする必要はありません。</p> |
| HTML | <p>HTML 通知先は、Connection が電子メールを送信できる電子メールアドレスです。電子メールには、標準形式の「<電話番号><内線番号>から電話がありました」が使用されます（例：「Jana [1014] から電話がありました」）。</p> |

関連トピック

[個人通知先の作成](#) (2 ページ)

個人通知先の作成

手順

- ステップ 1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [通知先 (Destinations)] メニューで、[通知先の表示 (View Destinations)] を選択します。
- ステップ 2 [通知先 (Destinations)] ページで、メニューバーの下にある [新しい通知先 (New Destination)] アイコンを選択します。
- ステップ 3 [通知先の作成] ページで、[名前] フィールドに通知先の名前を入力します。
- ステップ 4 [電話番号] フィールドに通知先の電話番号を入力します。

0～9の数字を使用します。数字と数字の間には、スペースまたはカッコを使用しないでください。■日本語版では削除：For long-distance numbers, also include 1 and the area code.□

特定の電話番号を入力できない場合や電話システムが追加の文字（たとえば、外線番号をダイヤルするためのアクセスコード）を必要とする場合があります。入力方法に疑問がある場合は、Connectionの管理者にお問い合わせください。

ステップ5 [呼び出し回数 (Rings to Wait)] フィールドに、着信をボイスメールまたは通知先グループ内の次の通知先に転送するまでConnectionが待つ呼び出し回数を、他の着信設定に応じて、入力します。デフォルト値は4回です。

ステップ6 Connectionに着信を転送するようにこの通知先を設定した場合は、[ループ検出の有効化 (Loop Detection Enabled)] チェックボックスをオンにします。

Connectionから電話通知先に着信を転送するルールを作成する場合、気付かずにコールループ状況を作成してしまうことがあります。コールループ状況では、Connectionが着信コールを電話に転送した後で、電話が着信コールをConnectionに送り返します。そのため、発信者がユーザに到達できないことがあります。Connectionに着信コールを転送するようにこのタイプの通知先を設定する場合は、この設定を選択すると、コールループの問題を排除できます。

ステップ7 保存を選択します。

関連トピック

[通知先について](#) (1 ページ)

個人通知先の変更

手順

ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [通知先 (Destinations)] メニューで、[通知先の表示 (View Destinations)] を選択します。

ステップ2 [通知先 (Destinations)] ページで、個人通知先の名前を選択します。

ステップ3 [通知先の変更 (Change Destination)] ページで、変更を加え、[保存 (Save)] を選択します。

個人通知先の削除

個人通知先は、通知先グループまたはルールで使用されている間は、削除できません。まず通知先グループまたはルールから通知先を削除してから、その通知先を削除します。

手順

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [通知先 (Destinations)]メニューで、[通知先の表示 (View Destinations)]を選択します。
- ステップ2 [通知先]ページで、削除する個人通知先のチェックボックスをオンにします。複数のチェックボックスをオンにすると、複数の個人通知先が一度に削除できます。
- ステップ3 メニューバーの下にある [選択した行削除 (Delete Selected Rows)]アイコンを選択します。

関連トピック

[通知先グループからの通知先の削除 \(7 ページ\)](#)
[ルールの変更](#)

電話通知先の呼び出し回数設定の変更

電話通知先の場合、[通知先 (Destinations)]ページで[呼び出し回数 (Rings-to-Wait)]設定を変更できます。

手順

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [通知先 (Destinations)]メニューで、[通知先の表示 (View Destinations)]を選択します。
- ステップ2 [通知先 (Destinations)]ページの[呼び出し回数 (Rings to Wait)]コラムで、着信をボイスメールまたは通知先グループ内の次の通知先に転送するまで Connection が待つ呼び出し回数の新しい値を入力します。
- ステップ3 [アップデート (Update)]を選択します。

通知先のループ検出設定の変更

プライマリ内線番号以外の電話通知先の場合、Cisco Unity Connection に着信コールを転送するように電話を設定したときは、[ループ検出の有効化 (Loop Detection Enabled)]設定を使用し示すことができます。たとえば、すべての着信コールを Connection に転送するように携帯電話を設定して、すべてのボイスメッセージを Connection に格納することができます。Connection から携帯電話に着信コールを転送するルールを作成する場合、気付かずにコールループ状況を作成してしまうことがあります。コールループ状況では、Connection が着信コールを携帯電話に転送した後で、携帯電話が着信コールを Connection に送り返します。そのため、発信者がユーザに到達できないことがあります。

この設定を選択すると、コールループの問題を排除できます。電話通知先から Connection に着信コールが転送され、その後電話に送り返されている場合、Connection は、着信コールを次の

割り当て済みデバイスに転送するか（通知先グループが作成されている場合）、または定義された通知先が他になければボイスメールに転送します。



- (注) この設定が有効の場合、**Connection** が着信コールを通知先グループ内の次の通知先またはボイスメールに転送するため、多少の遅延が発生することがあります。

手順

- ステップ 1** パーソナル着信転送ルール Web ツールの [通知先 (Destinations)] メニューで、[通知先の表示 (View Destinations)] を選択します。
- ステップ 2** Cisco Unity Connection に着信を転送するようにこの通知先を設定した場合は、[ループ検出の有効化] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [アップデート (Update)] を選択します。

通知先グループについて

通知先グループには、1つのグループ名のもとに順番に配列され、格納されている複数の通知先が含まれています。

たとえば、特定の連絡先からの着信コールを必ず受信できるようにするには、プライマリ内線番号、携帯電話番号、および自宅の電話番号を含む通知先グループを作成してから、連絡先からの着信コールを通知先グループに転送するよう Cisco Unity Connection に指示するルールを作成します。ルールに使用するには、通知先グループに少なくとも1つの電話通知先が含まれている必要があります。

着信コールが通知先グループに転送されると、**Connection** は、通知先にリストの順序で転送しようとします。この試みは、応答があるまで、発信者がボイスメッセージを残すか電話を切るまで、またはグループの最後の通知先に達するまで続けられます。グループに SMS または SMTP 通知先が含まれている場合、**Connection** は着信コールに関するテキストメッセージをデバイスに送信します。

通知先が応答しない場合、**Connection** は発信者に対し、次の通知先を試みるには1を押し、ボイスメッセージを残す場合は2を押しよう指示します。**Connection** は、指定された呼び出し回数に基づいて、応答があるまで待機します。この呼び出し回数は、通知先の作成時に [呼び出し回数 (Rings to Wait)] フィールドで設定します。呼び出し回数の指定がない場合、**Connection** はデフォルト値の4回を使用します。呼び出し回数の設定は、通知先作成後、いつでも変更できます。

Connection が通知先をすべて試みて応答がないとき、その着信コールはデフォルトの電話番号または通知先グループ内のプライマリ内線番号（通常はプライマリ内線番号）に転送されます。

関連トピック

[通知先グループの作成](#) (6 ページ)

通知先グループの作成

通知先グループには、任意の通知先を追加できます。1つの通知先を複数の通知先グループに追加することもできます。通知先グループには、最低1つの電話番号が含まれている必要があります。

グループ内の通知先の順序は重要です。その理由は、Cisco Unity Connection がリストの先頭の通知先から末尾の通知先に向けて順番にダイヤルするからです。通知先は、グループに追加した後、要求に合うように順序を変更する必要があります。

手順

- ステップ 1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [通知先 (Destinations)] メニューで、[通知先グループの表示 (View Destination Groups)] を選択します。
- ステップ 2 [通知先グループ (Destinations Groups)] ページで、メニューバーの下にある [新しい通知先グループ (New Destination Group)] アイコンを選択します。
- ステップ 3 [通知先グループ] ページで、グループの名前を入力します。
- ステップ 4 保存を選択します。
- ステップ 5 [通知先グループ (Destination Group)] ページで、[通知先の追加 (Add Destinations)] を選択します。
- ステップ 6 [通知先の追加] ページで、グループに追加する通知先の横にあるチェックボックスをオンにします。複数のチェックボックスをオンにすると、複数の通知先が一度に追加できます。
- ステップ 7 [通知先の追加 (Add Destinations)] を選択します。
- ステップ 8 [通知先グループ (Destination Group)] ページで、[優先順位 (Priority)] カラムに数値を入力して、Connection がグループにある通知先を呼び出す順序を指定します (たとえば、携帯電話を最初に、自宅の電話を 2 番目に呼び出すには、携帯電話に対して 1 を、自宅の電話に対して 2 を入力します) 。
- ステップ 9 保存を選択します。

関連トピック

[通知先グループについて](#) (5 ページ)

通知先グループの変更

グループ名を変更したり、グループに対して通知先を追加または削除したり、グループにおける通知先の優先順位を変更することができます。

手順

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [通知先 (Destinations)] メニューで、[通知先グループの表示 (View Destination Groups)] を選択します。
- ステップ2 [通知先グループ (Destination Groups)] ページで、グループの名前を選択します。
- ステップ3 [通知先グループ] ページで、グループ名またはグループにおける通知先の優先順位を変更します。
- ステップ4 グループに別の通知先を追加するには、[通知先の追加 (Add Destinations)] を選択します。グループから通知先を削除するには、通知先の名前の横にあるチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除 (Delete Selected)] を選択します。
- ステップ5 保存を選択します。

通知先グループからの通知先の削除

最後の電話通知先は、削除の結果グループが SMS または SMTP 通知先だけになる場合は、通知先グループから削除できません。

手順

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [通知先 (Destinations)] メニューで、[通知先グループの表示 (View Destination Groups)] を選択します。
- ステップ2 [通知先グループ (Destination Groups)] ページで、グループの名前を選択します。
- ステップ3 [通知先グループ] ページで、グループから削除する通知先のチェックボックスをオンにします。複数のチェックボックスをオンにすると、複数の通知先が一度に削除されます。
- ステップ4 [選択項目の削除] を選択します。

通知先グループの削除

通知先グループは、ルールで使用されている間は、削除できません。まず通知先グループをルールから削除してから、その通知先グループを削除します。

手順

- ステップ1 パーソナル着信転送ルール Web ツールの [通知先 (Destinations)] メニューで、[通知先グループの表示 (View Destination Groups)] を選択します。

- ステップ2** [通知先グループ] ページで、削除するグループのチェックボックスをオンにします。複数のチェックボックスをオンにすると、複数の通知先グループが一度に削除されます。
- ステップ3** メニューバーの下にある [選択した行削除 (Delete Selected Rows)] アイコンを選択します。

関連トピック

[ルールの変更](#)